森林の生き物調査から発展する活動

炭焼き

森林資源の採取、利用を体験し理解します。

○実施例

実施時期：冬 時間：（1日目）400分、（2日目）70分 実施場所：広場

指導者：5名 児童：30名

ねらい：森林資源の利用、自分の生活と森林のつながりに興味を持ち理解する。

プログラムの展開

時間	活動	備考
1日目		
導入(10分)	あいさつ 活動説明	2日間にわたるためしっかりと
説明(10分)	諸注意 炭焼きの話 ・炭焼きとはなにか ・炭焼き作業の説明	服装と安全指導
活動(180分)	窯作り・着火 ・伏せ焼き窯穴掘り ・炭材を並べ、落ち葉をかぶせる ・トタン板をかぶせる ・土をかぶせて、火を点ける	
昼食(50分)		
活動(100分)	雑木林のワーク ・雑木林の生き物を思い出す ・生き物たちのつながりを考える 雑木林のお話	丸くなって座る 生き物ブロックを円に配置していく つながりを糸であらわす 指導用資料
活動(50分)	炭焼き窯消火 ・窯を密閉する ・片付け	煙の変化に注目させる
まとめ(10分)	炭焼きの感想	窯出しへの意欲を喚起する
2日目		
導入(5分)	あいさつ 活動説明 諸注意	服装と安全指導
活動(60分)	窯出し ・窯の上の土を除去し炭を取り出す	

	・ 窯の跡を埋め戻す	
まとめ(10分)	炭焼きの感想	

道 具 (2窯分) : ブロック(14 個)、トタン板(90cm×180cm×2 枚)、カケヤ(2)、タケ(炭材)、焚き木、直煙突(4 本)、L 字煙突(2 本)、スコップ(4 本)、火ばさみ(2 本)、バケツ(4 個)、ペンチ(1 本)、マッチ(2 個)、新聞紙(焚きつけ)、落ち葉(12 袋)、うちわ(8 枚)、唐鋏(4 本)、杭(8 本)、丸太(90 cm×径 10 cm×6 本)、鉄筋(8 本)、コンベックス(2 個)

持ち物 : 水筒、タオル、軍手

準 備 : 消防署への事前連絡と近隣住民への周知、実施場所の安全確認